

新まちづくり計画 (H16 ~ 18) 事業総括調書

施策体系コード	2-4-2	事業名	地域での健康づくり活動推進事業
担当	保健福祉局健康衛生部地域保健課 石川 211-2306		
全体計画 (当初)			
事業内容	市民の自主的で継続的な健康づくり活動を支援するために、人材の養成や自主活動グループの支援を行うと共に、健康づくりを実践している団体及び人材のネットワークを構築し、健康づくり活動を発展させる。 1 ヘルシーコミュニティ促進事業：健康づくりに関する活動を行うグループに対して、運営や活動に対する助成金(年間5万円・3年間を限度)を交付するとともに、健康づくりに関心が高いが自立度が低いグループに対しては、自立化に向けた育成支援を行う。さらに、自主グループのネットワークを構築することにより、健康づくり活動の継続を支援する。 2 健康づくりリーダー養成研修：町内会組織等からの推薦や公募により、地域における健康づくりの核となる人材の養成を行う。各区保健センターにおいて概ね年5日間研修を実施する。 3 健康づくりネットワーク促進事業：各保健センターを拠点にネットワークを構築し活動の活性化を図る。		<年度別の事業内容> 1 ヘルシーコミュニティ促進事業を活用し、健康づくりを行う自主活動グループの増加を図ると共に、H18年度には、自主活動グループによるネットワーク活動を拡充させ活動の継続を支援する。 2 健康づくりリーダー養成研修は、各保健センターで新規研修及び再研修を実施するとともに、H18年度からは、健康づくりリーダーや自主活動グループを核とした、健康づくりを推進するネットワークの構築に取り組む。
	平成16年度事業内容(決算)		平成17年度事業内容(決算)
事業内容(量・場所・規模等)	1 ヘルシーコミュニティ促進事業 (1) 130グループに助成金を交付し、健康づくり活動を支援した。終了後の調査では、すべてのグループの活動内容が充実しており、半数を超えるグループに会員数の増加がみられた。また、グループの自己評価では、達成感や満足感を得ているグループが9割を超えている。 (2) 健康づくりに関心が高いが自立度が低い13グループに対し育成支援を行い、すべてのグループの自立度が向上し、このうち4グループが自主活動グループとして助成金交付対象となった。 (3) 自主活動グループのネットワーク化を図るために、各保健センターでは、グループ同士の交流会や活動発表会等を実施している。さらに、行政の健康づくり事業への参画や地域組織と協働で健康づくり事業を実施するなど、健康づくり活動を自分たちだけの問題と捉えず、地域住民全体の問題として捉えた活動に発展している。 2 健康づくりリーダー養成研修 各区保健センターにおいて、新規養成研修(受講者241人)及び再研修(受講者538人)を実施した。研修終了後は、町内会等で実施している健康づくり活動に参画、または、自主グループ活動を行うなど、健康づくりを実践している。 各区においては、市民や関係団体等による健康づくりに関する懇話会を設置するなど、地域の健康づくりを推進する基盤整備に着手している。	1 ヘルシーコミュニティ促進事業 (1)自主活動グループ支援:185グループ ・助成金交付(118グループ):構成員3,756人、157人増加/年 ・自立したグループ及び育成支援中のグループ(67グループ) (2)自主活動グループのネットワーク化 ・グループ同士の交流や合同研修の開催、人材の有効活用が図られる等、ネットワーク化が進展。 2 健康づくりリーダー養成研修 ・養成研修:10区で実施し291人受講 ・再研修(活動の継続や資質向上):8区で実施し505人受講 ・修了後は、地域組織・行政が実施する健康づくり事業への参画や自主的な健康づくり活動を行うなど、地域の実情に応じた活動を継続。 各区においては、健康づくりリーダーなど健康づくりに取り組む人材や関係団体等によるネットワーク構築に着手。	
事業内容(量・場所・規模等)	平成18年度事業内容(決算)	評価(成果)	
事業内容(量・場所・規模等)	1 ヘルシーコミュニティ促進事業 (1) 自主活動グループの支援:215グループ ・助成金交付(115グループ):構成員3,646人 ・自立したグループ及び育成支援中のグループ(100グループ) (2) 自主活動グループのネットワーク化 ・グループ同士の交流会や合同研修の開催、人材の有効活用等、ネットワーク化進展。 2 健康づくりリーダー養成研修 ・養成研修:10区で実施(276人受講) ・再研修(活動の継続や資質向上):7区で実施し338人受講 ・修了後は、地域組織・行政が実施する健康づくり事業への参画や自主的な健康づくり活動を行うなど、地域の実情に応じた活動を継続。 3 健康づくりネットワーク促進事業 各保健センターを拠点にネットワーク活動の活性化を図るためにファシリテーター等による啓発や、活動の成果を発表する全市的機会としてシンポジウムを開催した。(10区代表がパネリストとして実践発表、参加人数300人)	自主活動グループに助成し自主的・継続的な活動を支援したことにより、活動が個人の疾病予防に留まらず、地域の健康づくりへと発展している。 自主活動グループや健康づくりリーダーは、地域組織及び行政と連携・協働し、健康体操の考案・普及、ウォーキングマップの作成・普及等を行うなど、健康な地域づくりを推進している。 さらに、地域では、自主グループや健康づくりリーダーが核となった地域の健康づくりを推進するネットワークの形成が図ら	
19年度以降の方向性・事業の予定			
<p>急速な高齢化の進展に伴い、疾病構造が変化し、疾病全体に占めるがん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病等の生活習慣病の割合が増加している。</p> <p>これらの課題解決のために、国は、予防を重視した保健医療体系への転換をはかることとしており(医療制度改革)、生活習慣病の予防を中長期的な医療費適正化対策の柱の一つとして位置づけている。</p> <p>生活習慣病を予防するためには、健診や保健指導の充実と共に、情報の提供や生活習慣改善への動機付け、継続のための基盤整備が重要であり、多様化した市民ニーズを尊重し、主体的・継続的な健康づくり活動を支援する本事業は、生活習慣改善への動機付けや継続のための基盤整備を行う上で有効な方策である。</p> <p>今後は、健康づくりリーダーや自主活動グループが取り組む健康づくり活動の質的向上を図ると共に、健康づくりリーダーや自主活動グループを核としたネットワーク活性化についてより重点的に取り組む必要がある。</p>			

